

# 山口市議会報告

地域政党  
やまぐちの風

Yamaguchi City Council Report

vol.17

発行責任者  
山口市議会議員 竹中一郎

## 今こそ、地元の農産物を大切にしていきませんか？

～農家の皆様は有害鳥獣被害や水不足の中、懸命に農作物を生産されています～

令和4年 第3回山口市議会定例会 **質問と答弁**

### 中山間地域の持続可能な農業について

#### ——地域ブランド向上の取組

##### ▶質問

中山間地域において、地域における特産品ブランドの向上に取り組む農家に対して市はどのような支援を実施するのか。



徳地やまのいも



山口あぶトマト

##### ▶答弁

「徳地やまのいも」に関しては、増産体制や販路拡大、省力化のための機械器具導入等の支援を実施する。「山口あぶトマト」に関しては、選果施設の選果機整備の支援を実施する。毎月第2日曜日に米屋町商店街及び中市商店街において生産者と市民をつなぐマルシェイベント「あぐまるやまぐち」を開催するとともに、情報発信を行い、認知度向上を図る。



##### ▶議会での主張

農業においても、販売面におけるイメージ戦略は必要。さらなる取り組みを求めたい。

#### ——有害鳥獣対策の取組

##### ▶質問

有害鳥獣の捕獲・駆除には、猟友会等の現場で活動する団体等との連携が必要と考えるが、どのような支援を実施するのか。



水田に侵入した猪

##### ▶答弁

山口市有害鳥獣捕獲対策協議会に対し、狩猟登録や技術向上のための講習会を開催する必要な経費の支援をしている。侵入防止柵の設置を目的とした本市独自の補助事業「野猪・猿被害対策事業」については、本年度予算において拡充し、昨年度より500万円多い1,078万円を計上した。農作物の防護と捕獲・駆除の両面を支援し、被害の拡大防止に努める。

##### ▶議会での主張

猟友会の皆さんの高齢化が進んでおり、今後どのように駆除を進めていくのか、その対策は喫緊の課題である。

### 小郡都市核について

##### ▶質問

市として小郡都市核に集積を図りたい機能について、どのように考えているのか。その機能配置を果たすために必要と考える対応は何か。



##### ▶答弁

小郡都市核は、県の玄関口や山陰圏、山陽圏の結節点としての地理的優位性や広域交通網の結節点であるという交通の優位性を生かし、またMaaSなどの二次交通を充実させることにより、まずは県内を管轄する支店や営業所等のオフィス機能等の集積を図る。一方で、デジタル化の進んだ社会において、事業所機能の統廃合の流れにも対応するため、本市の特色や強みを生かし、産業交流拠点施設や情報通信業、YCAM、大学等との連携による新事業創出やメディフィットラボ内に設置している「やまぐちヘルスラボ」で生まれた成果や知見等を生かした健康施策やヘルスケア関連事業の創出に取り組む。また、こうした本市の特色をPRし、企業の本社機能の誘致にも取り組む。

##### ▶議会での主張

企業の本社機能をはじめとした中枢管理機能の誘致に取り組まれない。

*Achiro's Eye* 気づいたこと  
感じたこと



小郡都市核について、民間任せではなく、KDDI維新ホールの稼働をはじめ、昨今の人口増加、企業立地の勢い等、優位性を発揮して、市として更なる企業誘致に取り組む必要があると考えます。

地域政党 やまぐちの風は、市民の皆様の声を大事にすることを第一の信条として活動していることから、市議会での議論について、自身が撮影した画像等と併せて、定例会ごとにわかりやすくお伝えしていくためにつくっているのがこの会報です。是非、お気軽にご覧いただき、ご意見等をお寄せいただければ幸いです。

## 観光振興について



Out of KidZania in やまぐち2021

### ▶質問

本市の宿泊施設をはじめ、観光関連事業者の現状をどう認識しているのか。今後の観光関連産業の回復を通じた地域経済の活性化について、観光まちづくりの観点から、市としてどのような対策を実施するのか。

### ▶答弁

世界情勢の影響による原油価格や物価の高騰は、事業活動の回復の遅れに追い打ちをかけており、厳しい状況が続いていると認識している。山口ゆめ回廊博覧会の取り組みの継承をはじめ、子ども達が多様な仕事にチャレンジし、社会の仕組みを学ぶことができるOut of KidZania in やまぐちなどの地域資源をいかした体験プログラムを実施し、家族での周遊宿泊につなげてまいりたい。

### ▶議会での主張

観光関連事業者の経営の安定化、観光客の受け入れ体制に万全の準備が必要である。

## 下水道整備について

### ▶質問

下水道整備の現在の進捗状況について伺う。

### ▶答弁

市内全域における下水道事業の進捗率は令和3年度末において、86%となっており、山口処理区においては大内地区を中心に現在整備を進めている。大内地区の事業計画区域内における整備については、一部区域が私道等により調整を行っているが、令和6年度を目途に概ね整備が完了する見通しとなっている。



### ▶議会での主張

下水道の整備は事業費と時間を要するが、接続を待つ市民の期待も大きいので、引き続き着実な事業進捗をお願いしたい。

## 浸水対策について

### ▶質問

下水道事業としての浸水対策を今後どのように進めていくのか、また、現在進めているものがあれば、進捗状況なども含めて伺う。

### ▶答弁

仁保川と問田川が合流する付近の問田川の一番下流の左岸側、姫山台団地の下周辺は過去にも何度か浸水被害に見舞われている。その浸水対策として、現在、地元にある既存施設で、元は姫山台団地からの雑排水を処理するための処理槽だったものを再利用し、貯留槽のように利用し、大雨時には一旦水を貯めてポンプを使い排水する施設を整備する計画を進めている。昨年度までに既存施設がそのまま使えるかどうかの躯体の調査業務をはじめ、排水するための水路に伴う用地の境界立会などを実施した。今年度は既存施設のある土地の取得や施設整備に向けた詳細な設計業務を発注することとしており、令和5年度及び令和6年度で工事を実施し、完成する予定である。



### ▶議会での主張

総合浸水対策の所管が都市整備部になったことを契機として、これまで以上に、より組織横断的な連携をとって事業を進めてもらいたい。

## 道の駅の機能強化について

### ▶質問

「道の駅仁保の郷(さと)」の機能強化について伺う。

### ▶答弁

地元住民の皆様とのワークショップを開催し、令和5年度に基本設計及び実施設計、令和6年度に改修工事を行い、令和7年度でのリニューアルオープンを目指す。



### ▶議会での主張

地元農産物の販売が一層促進するよう、お客様にとって魅力のある機能について十分検討して施設整備を進めてもらいたい。

